



なぎちょう
奈義町

議会だより

3月議会



笑顔！満開！

146号

平成30年5月1日発行

発行 奈義町議会
編集 議会広報委員会
〒708-1392
岡山県勝田郡奈義町
豊沢306-1
☎(0868) 36-4191

【おもな内容】

- 3月議会で決まったこと 2～3ページ
- 平成30年度予算 4ページ
- 一般質問（9名） 5～13ページ
- 委員会報告・政務活動費報告 14～15ページ
- 農業者との懇談他・編集後記 16ページ

は今ある所での受け、論戦

3月定例議会は、3月7日から23日までの17日間行われ、平成30年度当初予算12件、条例16件、補正予算7件、報告2件、陳情6件、その他3件、決議1件、計47件を審議し決定。9名の議員が一般質問を行いました。

△条例

(以上、全員一致)

○奈義町特定防衛施設周辺整備調整交付金事業基金条例

防衛省からの特定防衛調整交付金を基金に積む場合、条例で明記しなければならないため、今回、条例化するものです。

議員から、基金の積み立ての目標は決めないのか、等の質問がありました。

○奈義町企業誘致推進基金条例を廃止する条例

東山工業団地は全区画、販売できたため、基金は不要となり、基金条例を廃止するものです。

○奈義町地域情報通信設備分担金徴収条例の一部を改正する条例

住居を建て替える時の移設の負担金が明確でなかったので、今回、



完売した東山工業団地（竹本容器増築中）

明記するものです。

○奈義町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

国保運営を県に移管する事に伴い、税徴収の仕組みを変えるものです。

議員から、町税等の未納は、どれだけの期間で支給しないように

ただし、税については、値上げはありません。

ただし、税については、値上げはありません。

議員から、町税等の未納は、どれだけの期間で支給しないように

○奈義町国民健康保険特別会計財政調整基金条例の一部を改正する条例

基金について、毎年は積み立てはしないので、実態にあったように改めるものです。

議員から、個人情報を役場などが使用できる場合の規定があいまいです。

議員から、個人情報を役場などが使用できる場合の規定があいまいです。

○奈義町在宅育児支援手当支給条例の一部を改正する条例

基⾦について、毎年は積み立てはしないので、実態にあったように改めるものです。

議員から、個人情報を役場などが使用できる場合の規定があいまいです。

○奈義町国民健康保険条例の一部を改正する条例

県に移管することに伴い、字句等の整理をするものです。

議員から、個人情報を役場などが使用できる場合の規定があいまいです。

基⾦について、毎年は積み立てはしないので、実態にあったように改めるものです。

議員から、個人情報を役場などが使用できる場合の規定があいまいです。

○介護保険関連の3件の条例改正は、国の法律改正により、奈義町の条例の一部を改正するものです。

議員から、個人情報を役場などが使用できる場合の規定があいまいです。

る条例

町税等の滞納がある場合、支給しないことができる、との規定を

ができる、との規定を

整理するものです。

議員から、町税等の未納は、どれだけの期間で支給しないようになるのか、弾力的な運用を考えるべきではないか、との質問がありました。

議員から、町税等の未納は、どれだけの期間で支給しないようになるのか、弾力的な運用を考えるべきではないか、との質問がありました。

議員から、町税等の未納は、どれだけの期間で支給しないようになるのか、弾力的な運用を考えるべきではないか、との質問がありました。

○奈義町農産物等直売施設設置及び管理運営に関する条例

議員から、町税等の未納は、どれだけの期間で支給しないようになるのか、弾力的な運用を考えるべきではないか、との質問がありました。

3月 定例議会

平成30年
3月7日～23日

町長の「中学校 表明を

る条例の一部を改正する
条例

山彩村の南側にでき
た、特産品などの試作
品加工場を管理するた
めに、条例の一部を改
正するものです。町が
施設を設置し、山彩村
の会に管理を委託しま
す。

議員から、この施設
が本当に有効に使用さ
れるようになるのか、
管理運営は、山彩村の
会で大丈夫か、等の質
問がありました。

(賛成8、反対1)

○奈義町課・室設置条例の
一部を改正する条例
役場の総務課を分け
て、新たに、情報財政
課を設置するものです。
(全員一致)

平成30年度一般会計、國
民健康保険特別会計など、
12件については、予算特別
委員会に付託し、審査が行
われました。(次頁、参照)

議員から、カレンダー
の評判がよくないが、
制作にどれだけ掛かっ
たのか、空き家活用事
業費が残ったと思うが、
流用しているのか、等々
の質問がありました。

《当初予算》

《陳情》

《補正予算》

○その他、国民健康保険特
別会計補正予算など6件
は、主に年度末の調整
によるものです。

(全員一致)

《一般会計補正予算》

歳入、歳出にそれぞ
れ1億900万円を減
額するものです。その
結果、総額45億670
0万円となりました。

《報告》

○専決処分の報告(損害賠
償の額を定めることにつ
いて)
先の台風の被害によ
り、センタービレッジ
奈義(旧雇用促進住宅)
の部屋に被害が及び、
これを損害賠償するも
のです。

《専決処分の報告(訴えの 提起について)》

長期間にわたる家賃、
水道料の滞納のため、
町営住宅入居者(5名)
に対し、住宅建物の明
け渡し等を求め、訴え
を起こすものです。

(以上、全員一致)

3月議会での陳情審査の結果

陳情名	提出者	結果
要望書(新しい「中学校」及び「保育園等」の建て替えについて)	各PTA会長	継続
要望書(中学校の建て替えと幼保一体型こども園の整備について)	各PTA有志	継続
畜産施設周辺環境における悪臭規制に関する要望書	区長会長	継続
町道伊勢東線改良について(要望書 荒内西地内)	荒内西地区長	採択(全員一致)
PTA(保護者)の思いを正確に受けとめて頂く事をお願いする陳情書	各PTA有志一同	委員会に付託
町道認定陳情書(成松地内)	成松地区長	委員会に付託

《その他》

○奈義町有機センターの指定管理者の指定について

これまで通り、JA勝英にするものです。

『決議』

○平成30年度奈義町一般会計予算についての附帯決議（案）

予算を承認するにあたって、まち・ひと・しごと事業費、小商いマーケットプレイス周辺整備事業費などについて、町民の理解が得られるよう、努力を求めるものです。

これについては、岡部議員より、すでに事業は始まっており、敢えて、決議を上げる必要はない、との反対討論がありました。
(賛成6、反対3)

平成30年度 予 算

一般会計

44億1,200万円

予算特別委員会報告

3月12、13、14日、委員全員出席（全議員で構成）のもと、審査を行いました。主な質疑は以下のとおり。

一般会計

▼国保会計では、30年度から県に移管をするので医療費が多くなり予算が足りなくなる場合は、

（全員一致）

に対するわかりやすく理解が得られるような姿勢が必要ではないか、等々の質問がありました。（賛成8、反対1）

特別会計・企業会計

▼後期高齢者医療会計では、新年度は保険料が下がるが、保険料収入はどの程度下がるか試算しているのか、
▼上水道会計では、漏水調査を行っているが、給水量に対するどの程度漏水しているのか、また対策は追いついているのか、

▼地方債の残高が増えているが財政上問題はないか、
▼現代美術館の入館料を昨年より多く見込んで予算計上しているが、29年度の実績に基づくものか、▼ふる里納税寄附金を減額するが、増やせるよう考えるべきではないか、▼元気集落支援事業費は何地区が使うことが予定されているのか、使いつづけているか、
▼スケートボーダー場の大規模な修繕は、必要性があるのか、▼小商いをしているのかわからぬ、との声も聞く、もっと町民



修繕を行うスケートボード場

内容は、
介護付通所サポー
トモデル事業の
問題ないのか。
では、認定調査
等費が前年に比
べ減っているが
（賛成一致）

今後は基本的に
県が責任をもつ
てやるというこ
とで間違いない
か。一般会計繰
入金は医療費が
増加した場合は
増えるのか、

▼介護保険会計
では、認定調査
等費が前年に比
べ減っているが
問題ないのか。

介護保険会計

輝く未来に向かって



安藤 榮一 議員



危険な通学路・町道馬場線（中島西）

答弁 町長 小中学校ともに保護者やPTA補導部により危険箇所の有無について点検を行っている。

答弁 教育長 本町の重点目標に児童生徒の登下校時の交通事故防止と高齢者ドライバーによる交通事故防止の2項目を掲げ、暮らしやすいまちづくりを進めていきたい。

答弁 教育長 学校図書館に新聞や複数の新聞に触れることができるよう環境をさらに整えていきたい。

答弁 教育長 小学生新聞見方、考え方の多様性を学ぶ機会にもなっている。

Q 地方創生推進交付金事業とは

A 皆さんに分りやすく周知する

質問 生涯“総”活躍のまちづくり事業を開拓するにあたり、その課題や円滑な推進の手法等の考えは。

答弁 町長 町民に分りやすい形で事業の内容等を紹介し、町が活性化できるよう皆さんとともに協働してまちづくりをし、元気な奈義町にしたいと考えている。

質問 今年1月末、県内で集団下校中の小学生5人が死傷する多重事故が発生した。通学路の安全確保のために、危険箇所の有無などの点検を実施してはどうか。

Q 通学路の危険点検は

A 点検を実施している

質問 教員の働き方改革は意識改革が必要

また、当該事故では、高齢者ドライバーが事故を起こしていることに鑑み、高齢者ドライバーの交通事故を防止するための対策の強化についても伺う。

答弁 教育長 もに保護者やPTA補導部により危険箇所の有無について点検を行っている。

質問 教員の働き方改革が進まないこと等の現状と改善点については。

答弁 教育長 各校・園では、職員の意識改革も必要なため、日々の仕事を見直す努力をお願いしている。

質問 学校図書館に新聞の整備を

A 環境を整える

Q 子育て支援日本一の町に ふさわしい中学校の建設を



岡部 英生 議員

A 現在の中学校用地を 有効に活用し建設する

質問

3月定例会の初日、

町長の平成30年度施政方針の中で、今、町民が注目している中学校などの建て替え改築方針が語られ、中学校の建て替え場所は、現在の奈義町久常にしたい、との町長の決断が示された。これから先、未来を託す奈義の子どもたちへ日本一の中学校を建設してやりたいと思う。町民皆様も昨日までのこととはリセットしていただき、単独町政を選んだ一人一人が心一つになり、子育て支援日本一の町にふさわしい新しい中学校、認定こども園を建設していくだきたい。中学校、認定こども園の建設計画についての反省と、建設に向けての決意を伺う。

答弁 町長 奈義中学校、認定こども園の改築建設計画については、この間、町民皆様方にはご心配、ご心労をおかけしたことを申し訳なく思っている。特に、中学校は耐震化が不足していること、保育園は100人定員に105人

まで数字が上がっているこ

とがあり、より多くの町民の皆さんから意見を聞かなければならぬと考えている。町長部局では子育て教育検討会、教育委員会部局では教育改革推進委員会を立ち上げ検討していただいた。また、専門家の大学教授からの意見もいただいた。そして、その結果については、現在の中学校用地を有効に活用して、中学校を建て替えることが最良の方法であると判断をした。これから奈義町を担い、また夢のある社会に羽ばたいていく子どもたちのために、与えられた範囲で最善を尽くして参りたいと考えている。今後は教育関係者、教育現場の方々の意見をいただき進めていくので、町民皆様のご理解とご支援をお願いしたい。



耐震が不足している現中学校校舎

※その他、教育改革推進委員会による学校教育プラン（案）に関する答申書につ

いて、今私たちがやらなければならぬ「教育の町、奈義」を目指すために何が必要なのかについての質問。

そして、高齢者に評判がよい「高齢者生活応援券」について質問をした。

Q 山の駅周辺の整備を



岡 親佐 議員

A 那岐山麓の自然を楽しむ施設に

質問 山の駅を中心とした催し物が計画されているが、駐車場の不足について苦情が寄せられている。駐車場の整備はできないか。

答弁 町長 行楽シーズンやイベント開催時には駐車場が不足している。現在の敷地内では困難であり、新たな用地が必要と考え、那岐山麓山の駅周辺整備と駐車場の整備も検討していく。

質問 コテージの利用が頻繁な時期があり、5棟では十分でないと思う。増築はできないか。芝生広場には、土日に多くの親子連れが遊びに来ているのが見うけられるので、トイレの新設ができるないか。

答弁 町長 夏休みや年末年始には満室となるが、年間を通してみると空室が多くなっている。ホームペジやSNSを活用し大学のサークルなどへPRし、平日料金の見直しも考え、稼働率の向上を図る必要がある。今後の状況を見ながら検討する必要がある。芝生

質問 地域の農業再生協議会の裁量によつて

答弁 町長 産地交付金は、

質問 広場周辺のトイレは必要がある。景観にも配慮した、トイレの増設が必要である。環でプロジェクトチームが組織されているが、山の駅周辺の整備はどのような方向で検討されているのか。

答弁 町長 那岐山麓の豊かな自然を最大限楽しみ、体験できる施設と定め、施設協力協議会や関係者の方々にファードバックし、議論を深めながらコンセプトや方向性を定め、慎重に進めていく。

質問 農業機械公社的なものを設立して、高額で常時使用しない機械の整備はできないか。

答弁 町長 町営の農業機械公社の場合、運営費や機械の導入費、維持管理費などを設立して、高額で常時使用しない機械の整備はできないか。

質問 地域の農業再生協議会の裁量によつて

答弁 町長 水田活用の直接支払交付金は、戦略作物助成と産地交付金でそれぞれの用件がある。米の直接支払交付金の代替として交付金の単価を上げられないか。



満車でにぎわう山の駅駐車場

質問 豊沢交通が3月末で業務を休止するが、林野高校生の通学等への対応は。

答弁 町長 林野高校に通う生徒、保護者の負担が大きくならないよう、4月からは緊急措置として町で交通の確保を行う。公平性の観点から、将来は有料化を目指す考え方である。

質問 農業機械公社的なものを設立して、高額で常時使用しない機械の整備はできないか。

答弁 町長 町営の農業機械公社の場合、運営費や機械の導入費、維持管理費などを設立して、高額で常時使用しない機械の整備はできないか。

質問 林野高校生の足の確保は

答弁 町長 緊急対策として町で交通確保をしたい

ど、多くの課題があり、農業機械販売業者との一時的リースの仕組づくりが有効だと考えられる。

Q 安全確保のためにも 今すぐ仮設校舎を



中井 泰洋 議員

A 建設準備室を設置し検討する

建設場所を示すことがで
きた今、一番に考えることは、中学生の安全確保だと
思う。何かがあつてからでは遅い。命はお金にかかる
ことができない。

小学校の空き教室の活用
や、仮設校舎を建設し、安心して教育が受けられるよう
にすべきと思うが、町長の考えは。

答弁 町長 耐震化推進指
針を踏まえて、建設準備室
を設置し仮設校舎のことにつ
いても十分に検討しながら組
みを取り組む。

安全確保については、行政の心配である。できるだけ早く建築に取りかかるべきではない。各段階において協力を願う。

質問

中学校は耐震診断の結果からしても、震源地に近い大きな揺れの地震があれば、大変な事態になる可能性がある。最近、日本各地で頻発する災害を考えれば、奈義町が突然大きな地震に襲われることも十分に考
られる。

Q 教育方針を決め、
早急に中学校建
設を
A 教育方針は教育委員会の中で検討する

質問 中学校建設に向けて、将来の担い手を育成するための教育方針を決め、早急に建設完了すべきと思うが、町長の考えは。

答弁 町長 教育方針については、教育委員会の中で検討をしていく。

Q 子ども園の建設候補地は
A 早期に決定したい

質問 子育て応援宣言の町として、現在、胸を張って小さな子供を預かり、保育する状況が整っているとは言えない状況にある。

早急な建設が必要であるが、候補地はあるのか。

また、土地については借



建て替えを急ぐ保育園

地の考えは無いということ
で理解していいのか。

答弁 町長 子育て教育検討会での審議では、小・中学校の周辺地または、公共施設周辺地となっている。教育効果や、保護者の利便性そして小・中学校との連携も配慮しながら早期に決

定したい。

土地については、これから先、買収できる所でないと対象の土地にはできないと思う。

Q 自衛隊員がもう少し奈義町に親しめる仕組みを作れないか
A 仕組み作りを検討する

質問 官舎に居住している隊員、隊員家族は保育園、幼稚園、小学校、中学校など子どもを通じて町民との交流ができるいると思うが、當内に居住している隊員の外出先は津山、岡山等、奈義町以外が多いように見受けられる。當内居住隊員に對しての情報が乏しい気がする。親しみを持てる仕組みを作れないか町長に問う。

答弁 町長 隊員の皆様には奈義町を良く知っています、より親しみを感じてもらわなければならない。自衛隊に対しては、町の状況や各種行事へ参加してもらえるよう情報発信に努める。

また、民間レベルで隊員と町民が交流していくける仕組み作りを検討していく。

Q 子育て支援の今後は



岡 立 議員

A 日が届き、見過ごさない支援へ



むし歯撲滅

質問 保育料等、多子軽減事業は、子育てに大きな変化をもたらしたと思うが、その成果と課題は。

答弁 町長 就労や仕事復帰がしやすくなり、家計も助かる。反面、親子のきずなが希薄化するおそれがあるので、その対策も必要だと考えている。

質問 必要だから支援するものと、あつたら便利だろ

質問 在宅育児支援事業は、子育ての選択肢のひとつになつたか。

答弁 町長 家庭で育児をされている方には喜ばれているが、選択肢にはならない。

質問 チャイルドホームで「たけの子」も、子育ての選択肢のひとつで、応援をしていきたいが、一方どこにも出てこられない家庭の支援をするためには、フィンランドの子育て「ネウボラ」が有効だ、と以前も質問した。ぜひ考えていただきたい。

答弁 町長 さらに研究する。

質問 チャイルドホームで「たけの子」も、子育ての選択肢のひとつで、応援をしていきたい。

答弁 町長 奈義町の医療費に特徴はあるか。

質問 奈義町の医療費に特徴はあるか。

答弁 町長 一人当たりの糖尿病や骨折等の医療費は、県内でも、やや上位であり、歯科医療費が高い傾向にある。

質問 日本でも上位というなら、対策が必要ではないか。

答弁 町長 早期治療が有効である。

質問 考え方を変えて、歯は治療から予防にすべきではないか。新潟県が行っている、フッ化物洗口を取り入れてはどうか。

答弁 町長 専門家の意見を聞きながら検討する。

質問 く増えれば上がることになる。

答弁 町長 その他に私達が気を付けることは。

質問 窓口対応は、変わらない。早期発見、早期治療で、健康第一に暮らしてほしい。

質問 奈義町の医療費に特徴はあるか。

答弁 町長 窓口対応は、変わらない。早期発見、早期治療で、健康第一に暮らしてほしい。

Q 教育施設は一ヵ所に あってこそ、と思うが



芦田一郎 議員

A 中学校については 現在の敷地内で

答弁 町長 中学校の建て

町長は、7日の施政方針で、今ある中学校の敷地の中に中学校を建てることが最良の方法と述べられ、このことについては、今後異議は出ないと思われる。したがって、その後の新校舎建設については、慎重に、深く掘り下げられた議論が展開されなければならない。町外から教育、子育てを目的に、奈義町を移住、定住先として選んでもらえる、子育て世代にとって魅力的で、利便性の高い教育施設の設計ができる必要がある。

この事は、町内で3人以上の子育てを行える家族が増えることと直接かかわってくる問題で、同一敷地内に0歳から15歳までの一貫した教育施設があつてこそ、町外から注目してもらえると思う。こども園と小学校を別の場所にすることは、町外からの注目の対象とはならない。よく考えて、教育施設が1ヵ所に集中した図面を書くべきと思うが、町長の所見を伺う。

質問

町長は、7日の施政

方針で、現在の敷地内で検討したい。現

段階で1ヵ所に教育施設が集中した図面をつくることは決断できな

い。その中で、細かい検討に

入っていくと、ますます中学校の着工が遅れる方向へい

くのが非常に懸念される。



一ヵ所にまとめたい子育て、教育施設（平成24年撮影）

Q 中学校の件で、反省するとは何か



森藤 政憲 議員

A 前のめりになった事は お詫びする

答弁 町長 50年後、百年後を考え、0歳から15歳までの一貫した教育が必要と思い、小学校西側へ中学校の移転を考えたが、結果的に前のめりになり、過ぎた感があった。多くの皆さん の署名運動にも発展し、町全体に混乱を起こし、お詫びを申し上げた。



話題の王将跡 小商いマーケットプレイス

質問 3月議会の施政方針で、町長は、中学校は、今ある所で建て替えたい、と述べた。町民は、大変歓迎されている。これで、落ち着いたとの声も多数、聞かれる。移転する場合と比べ、今ある所で建て替えた場合、13億円、町民一人当たりにすれば、21万円の節約となる。大きな決断だ。ところで、町長は、大きな混乱を起こし反省する、と述べたが、何を反省するのか聞きたい。

答弁 まちづくり戦略室長
条例や規則はない。一井
さんや林さんについては、
つながる地域づくり研究所
から政策アドバイザーとい
う事でお願いしている。

ナギカラの職員が町に派遣され、若手職員の研修の場である、プロジェクトチームに理事とともに参加している。若手職員が頑張っている姿には頭が下がるが、ナギカラが参加するには条例や規則が必要と思うがあるのか。

質問 町はナギカラに地方創生事業の交付金を委託し、ナギカラを監督する立場のはずだ。ところが、ナギカラに町が“振り回されている”感じがする。

A ナギカラと町との関係は適切か
Q 適正な対応に努めたい

質問 地方創生事業は、交付金が出なくなる時は、自立するようになっている。本当に自立できるのか。まちの人事部、しごとコンビニの収支、ナギカラの収支はどうなっているか。

答弁 まちづくり戦略室長

まちの人事部、しごとコンビニは予算で、売上が1800万円、交付金が3800万円、計5600万円

Q ナギカラは自立
できるのか
A なかなか難しい

答弁 町長 指摘の件は十分調査して、適正な対応をしたいと考えている。

の収入、支出は、人件費750万円、しごとコンビニ二まちの人事部のチラシ制作費などが、1940万円、運営費が470万円などである。ナギカラの経常経費は、人件費3000万円、維持運営費が1500万円、計4500万円。自立は、なかなか難しいと考えてい

質問 沖縄では米軍ヘリの事故が頻繁に起こっている。それに、米軍は約束を守らない。こんな状況の中で安全は守れるのか。

Q 米海兵隊単独訓練の安全性は大丈夫か

Q 地方創生事業の評価や検証は



鷹取 渡 議員

A 毎年、事業完了後、住民代表を含む外部組織で検証

地方創生事業が、5カ年計画で進行しており、本年度も4億円の予算で30項目の事業が予定されている。事業の管理業務を円滑に進めるため、※注PDC Aサイクルがある。その中でC（チェック）の検証とA（アクト）の見直しや改善はどうしているのか。

※注:PDC Aサイクルとは
P…プラン（計画）
D…ドゥー（実行）
C…チェック（評価）
A…アクト（改善）
の事です。

質問

地方創生事業が、5

み・基盤づくりを主としており、今後は創生事業でで

きた制度や施設・仕組みの管理・運営をしていく人材育成が必要であり、町民を中心とした組織ができるよう検討を進めていく。

質問 平成29年度の全国学力テストにおいて、小学校6年生、中学校3年生の結果が、全国平均や岡山県の平均点に比べて低すぎると思われる。どんなことが考えられるか。指導の中で特に力を入れたり、工夫をしているところがあるか。

Q 小学校、中学校とも、最近、学校

力が低迷しているようだが

A 活用力や作文力、読解力に苦手意識がある

32年度で創生事業は区切りとなるが、地域再生推進法人のナギカラとの関係は継続していくのか。

答弁 町長 每年、住民代

表や産業、行政、金融、報道の方等で構成する「まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会」などで事業報告をし、検証していただいている。

答弁 教育長 学力の二極化、学年による格差が見られる。活用力や作文力などが少し弱いようで、難しい課題もいろいろある。

進行中の地方創生事業での地域再生法人ナギカラの役割は、企画、構想や仕組

先生方に、わかりやすく、楽しく役に立つ授業、一人の子供達の居場所のある授業づくりをお願いしたい。学習につまづき、困難を抱える子供たちを放つておいてはいけないので、学校では積極的な補充学習の

取り組みで、基礎、基本を学ぶことに力を入れ、学校支援ボランティアの皆さんにも協力をお願いをし、支援を行っている。



観光マーケティング委員会グルメ部会

Q 今後の小学校、中学校の教育方法について



桑村 由和 議員

A 一貫教育を推進していく

質問 6・3制、小中一貫教育、教科センター方式などの良い点、悪い点について。
答弁 教育長 6・3制の良い点は、戦後から続いている安定感である。しかし現在の子どもの実態になじまないと言う考えも出ている。6・3制を丁寧につないでいく延長に、一貫教育がある。教科センター方式は指導する教師の力量が問い合わせ、課題が多いように思っている。



小学校と中学校の先生が一緒にいる職員室

質問 小学校と中学校の先生が一緒にいる職員室について。
答弁 教育長 奈義中学校をもっと魅力的なものにする必要がある。

には自然を取り込んで遊ぶ場所があれば良い。ことが重要と思うが。

質問 魅力ある教育を行うことが重要と思うが。
答弁 町長 教育内容については、教育委員会の中で検討していただきたい。

質問 PTAとしては施設一体型の小中一貫校、保育園と幼稚園が一緒になったこども園を希望していたが。建設が妥当で、教育方法について、教育委員会の中

子育て教育検討会の方向は

答..3月1日、所管事務の調査を行った。主な質疑は次のことおり。

問..飲食店がなぎビーフを提供するのに安く仕入

答..3月議会までの方向は。

答..3月議会までには、方針を出せるのではないかと思う。

問..森林環境税について方について1000円を

答..ささらに検討していく必要がある。

答..ささらに検討していく必

問..子育て教育検討会の方向は。

答..子育て教育検討会の方向は。

総務常任委員会

3月2日、執行部、担当課、室長出席のもと委員会を開催し、所管事務の調査を行った。主な質疑は次のとおり。

問..お土産をメーカーと開発しているが、販売はどうなる。

問..地方創生事業は町でで

答..今は奈義町で作れていらない。販売については、今後の課題である。

問..山の駅のメニューはバ

答..豊沢住宅跡地の開発であり、移住者も利便性を求めている。

問..多面的機能支払い金額をきちんと提示して欲しい。

答..県と調整しながら、変動が生じないようにした

まちづくり・文教常任委員会

きないからナギカラに任せたのではないか。やつていく方向に。町でやれるものは町でやれるばかり良くなるのはどうか。

問..奈義町の中央（豊沢地区）ばかり良くなるのは

答..検討していきたい。

問..小学校を卒業し、県南などの中学に進学もみられるがどういうことか。

答..進学やスポーツなど目

イギングだけでなく、他のメニューもできないか。

問..中学校の先生の超過勤務の問題は是正できるか。

答..部活の関係でどうしても残業が増える。町費の講師でも対応している。

地方創生の方向は

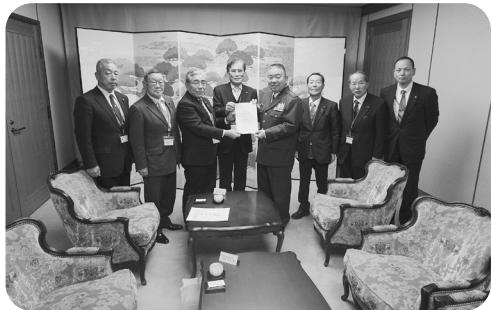
委員会報告

平成29年度後期分政務活動費報告書

(平成29年10月～平成30年3月)

議員氏名	収支報告額(実績) 単位:円					支給決定額	政務活動費の主な使い道
	調査研究費	会議費	資料購入費	広報費	合計		
桑村由和					0	0	
中井泰洋	20,262				20,262	20,262	先進地視察、意見交換(兵庫県多可町、大阪市、堺市、たつの市)
岡立		1,600	5,520		7,120	7,120	町の仕組み勉強会開催、「自治体予算のしくみ」他購読料
岡親佐					0	0	
鷹取渡					0	0	
安藤榮一			3,012		3,012	3,012	「徹底検証「森友・加計事件」」他購読料
芦田一郎			4,422		4,422	4,422	「早わかり 公会計の手引き」購読料
森藤政憲		17,940	972	12,010	30,922	30,922	議会報告会開催、「地方創生の正体」購読料、「森藤まさのり議会だより」発行
岡部英生					0	0	
小阪四郎					0	0	
計	20,262	19,540	13,926	12,010	65,738	65,738	

特演場委員会対策



防衛省への陳情

定住化促進調査特別委員会

2月23日、委員会を開催。

内容は、豊沢住宅跡地周辺活用プロジェクトチームとの意見交換会。プロジェクトチームが検討している、「新しい住まいのエリア」についての説明を受けた。

内容は、奈義町における賃貸住宅の現在の官民両方の戸数や入居状況、旧豊沢住宅跡地利用方法について説明を受けた。人口維持に向けて多くの仕組みを作り、入居者の維持可能性の確保など、今後の奈義町の住まいについて説明があり、入居者の中でも、ボルダリング施設等について議論があつたとの報告を受けた。

1月31日、委員全員出席のもと防衛省等への陳情時に提出する要望書の内容、訪問先、日程等を協議した。

2月13日、14日、委員全員、議長、町長、演習場対策室長とともに、防衛省、岡山県選出の国会議員等に陳情要望活動を行った。

防衛省において審議官、陸上幕僚副長と面談し、陸上自衛隊日本原駐屯地の隊員の確保と、さらなる充実についてという要望書を提出した。

必要との意見が出た。

保育園・幼稚園・中学校の今後の在り方調査特別委員会

組合議会報告

消津 防山 圏域 合域

2月1日、2月定例会を開催。

★30年度予算を決定

27億4830万円

★補正予算

148万円、主に15mの

はしご車を官公庁オークションで販売したもの。

念願であった、美咲町柵原出張所の場所が決まり、建設が始まる。なお、奈義町の分担金は、8250万円。

(岡立議員)

勝田郡老人福祉施設組合

2月15日、平成30年度第1回組合議会が開催された。

大下順正副管理者より行政報告があった。平成29年

度の予算総額に、567万円を追加した補正予算が認定された。その後、平成30年度一般会計歳入歳出予算1億8163万円が認定さ

れた。(安藤、森藤議員)

施勝英組合生

2月20日、平成30年度勝英衛生施設組合の一般会計予算9800万円と決定した。本町の分担金は1640万円、し尿処理数量は、2378klとなっている。

(小坂、桑村議員)

勝英農業共済事務組合

2月28日、定例会が開催され、平成30年度予算3億9500万円と決定した。

また、平成29年度補正予算51万円を減額し3億7384万円とした。

(岡親佐、中井議員)

津山圏域資源循環施設組合

1月19日、定例会が開催され、平成30年度予算総額

11億7273万円と決定した。本町の分担金は2845万円となつた。また、平成29年度補正予算は、繰越明許費2200万円を承認した。(鷹取、岡部議員)

農業の今後について



うまいぞ！なぎビーフ

匠の技、ここに集結！

3月16日、町文化センター
集会室において、町内の畜
産関係者（家畜飼養者10名
出席）と議会との意見交換
会を行いました。

内容は、畜産施設周辺環
境における悪臭規制に関わ
る要望について話し合いま
した。悪臭防止法や臭気対
策について知識を深めるこ
とを確認し、有意義な意見
交換会となりました。

2月8日、8名の農業者
に参加していただき、農業
についての懇談を行いました。

多くの方の意見としては、

- 一、収入の安定する農業
- 二、発信力、販売力をつ
ける
- 三、なぎビーフのブラン
ド化

等の問題点が出され、今
後、町の施策に反映される
よう、順次提案していきた
い。

- 一、公社、企業体の立ち
上げ
- 二、畑の有効活用、一年
を通して生産できる
農業

住民と議会との懇談会

臭気対策 について意見交換

町内畜産酪農家と議会と



畜産関係者と議会との意見交換会

視察がありました

①2月2日、兵庫県朝来市

議会より、5名の視察が
あり、子育て支援の取り
組みについて。

②2月7日、奈良県山添村
議会より13名の視察があ
り、子育て支援対策、定
住化対策について、意見
交換をしました。

これから農作業も忙
しくなってきます。苗
つくりから田植まで多
忙な時期となってきた
と思えば久しぶりの4月
の降雪…。
これから季節、木々
も芽吹き、新緑が鮮や
かな時期となってきた
と思えば久しぶりの4月
の降雪…。

暖かい春になつたと
思えれば、安全、体調に
気を付けて町民の皆様
も頑張ってください。
議会全員、奈義町の
明るい未来に向けて奮
闘中です。
町民の皆様も、議会
に対して意見を聞かせ
ていただければと思っ
ています。

(中井泰洋)

井戸 勝 横長

前 事務局長 中井正和
(まちづくり戦略室へ)

新 事務局長 井戸 勝
(勝英農業共済事務組合
より)

議会事務局異動

4月1日付けで、人事異
動がありました。

編集後記

【編集委員】
議長 小阪四郎
委員長 中岡泰洋
副委員長 中岡立洋
芦田政憲
森藤英生
岡部生郎